

軍事秘報

昭和二十年一月三日

日

RS 05396

Cinopac-Circ J a

B- 2 6997

OKINAWA 24 July

整邊番號第貳號

65242

# 戰鬥詳報

140  
111

獨立高射砲第二十七大隊



進達區分

進達先	整理番號	部	教
第三十三軍司令官	幕僚長兼戰號	戰部	

目次

- 第一 戰鬥開始前ニ於ケル彼我形勢ノ概要
- 第二 戰鬥ニ影響ヲ及ボシタル氣象・住民地ノ狀態
- 第三 來襲敵機ノ數及種類・裝備・素質・戰法
- 第四 各時段ニ於ケル戰鬥終結關係部隊ノ動作及連絡施設ノ狀態
- 第五 戰鬥名ニ於ケル彼我形勢ノ概要
- 第六 齟齬過失・其他將來ノ參考トナルベキ事項

附表

- 第一 各中隊戰果一覽表
- 第二 武器彈藥損耗表

附錄

- 第一 獨高三之作命令第一號

附圖

- 第一 陣地配備要圖
- 第二 敵機主要航跡及敵機要壘要圖(三日迄)
- 第三 敵機主要航跡要圖(四日迄)

戰況詳報

昭和二十年一月四日  
小森久隆地

第一戰期前ニ於テ我形勢ノ概要

一 部隊ノ状況

一 部隊ハ昨午六月上旬第三十三軍、隸下ニ入ラシメラレ那覇港ニ上陸同港及那覇海軍飛行場ヲ掩護スバキ任務ニ基キ迄、如ク陣地ヲ占領シ八月上旬略、陣地構築ヲ終レリ

本部第一中隊 那覇市小森 四八ニ高地

第二中隊 同 天久 四九五高地

第三中隊 讀谷山林産喜味陣地

爾右大隊ハ本陣地ノ強化ヲ圖ルト共ニ迄、如ク豫備陣地ノ構築ニ着手ス事ヲ續行中ナリ

本部第二中隊 識名東北一料墓地附近

第一中隊 上間東南側

第三中隊 八十二月六日軍高射砲隊ノ直轄トナル

2 將校下士官兵ノ素質

高射砲兵出身並ニ他兵科出身將校下士官兵相半シアリテ編成以來陣地構築及繁劇ナル警備勤務ニ忙殺セラレ正規ノ教育訓練ヲ實施スル能ハザリシ現況ナリシモ去ル「ロ」南西空襲ノ緒戦ニ於テ十六機要撃一機要破ノ戦果ヲ擧ゲ爾来見敵必撃ノ意氣ニ燃ヘ零細ナル時間ヲ利用シ訓練ヲ實施シツ「アリ」任務達成ノ為精進ヲ續ケ来レリ

3 當時部隊ノ有スル重要火器凡ノ如シ

- 八八式七種高射砲(船舶用)十二門(中隊六門編成)
- 九二式高射機關銃 四銃(中隊ニ銃砲)

4 配備戦斗指導方針

戦斗ノ方針ハ所在陸海軍部隊ト緊密ナル協同戦斗ノ下ニ來襲敵機ヲ撃墜シ在港船舶埠頭迄ニ單獨品

ヲ直接掩護ス

其ノ配備ハ附圖第一ノ如シ

5 築城其他

第一三中队ノ火砲陣地ハ積土式掩体第二中队ハ主トシテ堀周掩体彈藥資材ノ大部ハ坑道式横穴及墓地築成ルハ廣汎ニ各所ニ分散格納被服糧秣ノ大部ハ洞窟ニ一部ハ所在家屋露兵ニ分散集積ス

ニ敵軍ノ狀況

敵ハマリヤナ攻略後其ノ砲ヲナキ望遠ノ野心ヲ比島ニ指向シ遂ニレイテ島ニ上陸更ニ強引ニモミンドロ島ニ上陸シ反以白熱的激戦中ニシテ敵ハ一方有力ナル機動部隊ヲ比島東方海面ニ出沒セシメ南西諸島台湾ヲ牽制攪乱ヲ圖ルト共ニマリヤナ基地ヨリスル由ノ我本土攻撃激次活潑化シ來リテ本島地区ニ於テモ去ル十二月三十一日來少敵機偵

察ノ目的ヲ以テ連日ノ如ク來叢シ其ノ企圖ハ豫測ヲ許  
サズ最ニ注意ヲ要スルモノアリ

第二戰鬥ニ影響ヲ及ボシタル氣象居住民地ノ狀況

一月三日ニ於ケル氣象凡ノ如シ

日出 〇七、一七 日入 一七、五〇 月出 二六、一一 月入 一〇、三七  
月令 一八、五 雲量 一 雲高 一、五〇 視程 二五、〇〇  
氣圧 七五七 気温 一七 風速 二八 風向 南 二九、〇〇

二月四日ニ於ケル氣象狀況凡ノ如シ

天氣 小雨 日出 〇七、一七 日入 一七、五一 月出 二六、〇二  
月入 二、三三 月令 一九、五 雲量 一〇 雲高 五、〇〇  
視程 三〇、〇〇 氣圧 七六四 気温 一七 風速 二、三

風向 南 二九、〇〇

ニ縣民ノ一部ハ疎開セルモ大部ハ本島ニ在リテ食糧増産  
單緊急工場ノ作業等ニ積極的協力ヲ為ス軍單官民

一、體ノ資ヲ發揮シアリ

第三、空襲敵機ノ機数機種、裝備、素質、戦法

一、三日ニ於ケル機数及機種

ホーイング <sup>B29</sup> 一機

グラマン <sup>B24</sup> (ワイルドキャット) 延約三十機

二、四日ニ於ケル機数及機種

グラマン <sup>B24</sup> (ワイルドキャット) 約十二機

ニ裝備

敵機ノ裝備火器ハ今本發行日米英飛行機便覽ニ記載

シアルモ、如シ

三、素質

一、〇、〇南西空襲ノ際ト同ジク戦術、射撃精度等ニ操縦兵

ニ概ネ良好ニシテ侮リ難キモノアリ

四、戦法



三日ニ於ケル戦法

敵機ハ南方ヨリ高度約二〇〇〇ヲ以テ要地ニ侵入太陽  
ヲ背ニシテ小標海軍飛行場南方上空ニテ遊ニ編隊ヲ解キ  
左ニ旋回四機宛ニ回ニ直リ約六七十度ノ再度ニテ急降下  
銃撃ヲ為ス、爾右不規行動ヲ以テ被弾ヲ回避シツ、  
高射砲ノ威力圏外ニ脱去シタル後逐次慶良間海峡  
上空附近ニ集結南方ニ退去セリ

銃撃時迄ニ襲撃後モ猶上空ニニ乃至四機旋回滞空  
シアリテ戦果ノ觀察ヲ為シツ、アルモノ、如シ  
攻撃目標ハ主トシテ飛行場ヲ銃撃シ所在飛行機ノ  
撃破ヲ企圖セルモノ、如シ

四日ニ於ケル戦法

敵機ハ北方ヨリ超低空(海ニ二十米)ヲ以テ要地ニ侵入那覇市  
内ヲ銃撃シツ、那覇港外ニ座礁中ノ機帆船艦ニシテ海軍

飛行場ヲ銃撃直ニ南方ニ退去ス、前日ニ同ジク船舶及  
飛行機ノ撃破ヲ企圖セルモノ、如キモ視界不良ノ為  
目的ヲ果サズ退去セリ

第四各時期ニ於ケル戰鬥經過關係部隊ノ動作及連絡施  
設ノ状態

一戰鬥前ノ状態

舊城來連日、如クB29(一機)高度約八〇〇〇一〇〇〇〇ヲ以テ  
沖繩本島上空ニ侵入偵察シアリタリ  
二敵機來襲時及來襲後ノ状態

三日ノ狀況

部隊ハ連日、如キB29ノ侵入偵察ニ鑑ミ特ニ對空監視ヲ  
嚴ニシ在リシ所我ガ監視哨ハ五〇東南方高度約  
八五〇〇ニテB29一機發見ス、  
大隊ハ直ニ戰鬥姿勢ヲ令シ對應セシム敵機ハ那覇

上空ヲ旋回右蒼惶トシテ退去。〇九、一〇北方雲中ニ  
機影ヲ没ス。

〇九、三ニ南方系滿方向ニ高度約二〇〇〇ニ於テ敵機約十ニ  
機ヲ發見。大隊ハ各隊ニ好機ヲ捉ヘ待機射撃ヲ命ズ。  
敵機ハ飛行場南方上空ニ於テ編隊ヲ解キ飛行場ニ  
對シ急降下。銃撃ヲ開始セリ。

同時ニ大隊ハ一齊ニ砲門ヲ開キ敵機ニ對シ猛射ヲ加フ。  
〇九、三七飛行場ハ敵機ノ銃撃ニ依リ三ヶ所黒煙ノ上ル  
ヲ見。内一ヶ所ハ燃料ノ如シ。

〇九、四ニ敵機ハ該黒煙ヲ目標トシ旋回右再ニ銃撃ヲ  
開始ス。

第一中隊飛行場上空約一五〇米ニ第一編隊一機及  
及ニ番機ニ有効彈ヲ集中。一機ハ稍速度ヲ減ジ飛  
行場前方約一〇〇〇ノ海上ニ墜ス。

ニ番機ハ機体ヨリ黒煙ヲ噴キ著シク速度ヲ減ジ海面  
上約二十米ヲ瀕長島方向へ脱去ス。

一方〇九、四〇飛行場ヲ銃撃セル第一編隊ハ右へ  
旋回右天久上空ニ飛翔スルト見ルヤ其ノ一機ハ第二中隊  
ノ集中射ニ依リ翼ヲ翻シ暫時ホノ葉ノ如ク動揺セルモ  
激時高度速度ヲ減下シツ。北方ニ遁走セルモ雲級確實  
ナルモノト認め、爾右残余ノ敵機ハ系滿上空ニテ旋回  
シツ。僚機ノ到ルヲ待テ南方海上ニ退去ス。

- 敵機ノ主要航跡並ニ墜撃箇所附圖第ニ如シ
- 一、〇〇〇軍内會報ニ出席シテリシ家永中尉急遽級隊ス
  - 一、〇三〇附録第一独高ニモ作命甲第一編ニ基キ職名予  
備陣地構築中ノ本部各中隊人員級隊戰鬥ニ加入ス
  - 一、二〇〇空襲警報解除セラル
  - 一、三〇〇大隊ハ緊急警報乙ニ移行ス

乙四日ノ状況

〇八〇一台湾地區空襲警報發令ノ報送ニ〇九三〇八重山  
群島與那國上空ニ敵機三機旋回中(〇八三五現在)ノ情報  
ヲ入手セルヲ以テ大隊ハ〇九三〇警急姿勢乙ヲ令スルト  
共ニ將校ノ指揮スル下分隊ヲ砲側ニ待機セシメ射撃準備  
ニ遺憾ナキヲ期シアリ

〇九三五讀谷山基真一五〇度方向四十科ニ不明機近接中  
〇九五五空襲警報發令

同時ニ大隊ハ戰鬥姿勢ヲ令シ特機中一マ〇三敵機ハ北方ヨリ  
超低空高速ヲ以テ要地ニ侵入シ來ルヲ第三中隊第一分隊  
發射セルモ海面正約二十米ニシテ掩体ヲ為死界ヲ生ジ爾右射  
撃ヲ行ハズ敵機ハ那霸港附近迄ニ海軍飛行場ヲ銃撃  
直ニ南方ニ遁走セリ

第一中隊同ジク死界ニ入りタルヲ以テ射撃ヲ貴實施セズ

敵機ノ主要航跡附圖第三ノ如シ

第五戰鬥日ニ於ケル敵機形勢ノ概要

大隊ハ四日一〇〇〇空襲警報解除セラレタルヲ以テ一〇〇六警  
急姿勢乙ニ移行シタルモ全般ノ情勢ニ鑑ミ向中隊共ニ  
將校ノ指揮スルニテ分隊ヲ砲側ニ待機セシメ射撃準備遺  
憾ナキヲ期ス

情報ニ依レバ有カレル敵機動部隊ハ依然台湾近海ヲ  
遊弋シアルモノノ如シ

第六迴詰過失其ノ他將來ノ參考トナルベキ事項

一、掩体ニ就テ

火砲掩体構築ニ方リテハ敵ノ各種戰法特ニ低空目標ニモ  
對應シ得ル如ク地形等ニ鑑ミ重要方向ノ掩体高ヲ豫メ  
考慮シ死界ノ消滅ニ努メ止ムヲ得ザル場合ニ於テモ其ノ死  
界ニ對スル對空銃火器ノ配備ニ關シ遺憾ナキヲ期スルヲ



要ス

ニ情報ニ就テ

本戦斗ニ於テハ他部隊情報ノ傳達概キ時機ヲ失シタルモノ  
多シ之ガ原因ハ直情報部ト直通電話ヲキキ起用スルト思  
考スルニハナリテハ直通電話ヲ架設  
スルヲ要ス

直通電話

27AA

一

隊表第一

各中隊戦果一覽表

中隊別	戦	果	一覽表	摘要
第一中隊	一	一		直通電話ヤソノ高度ヲ下テ着シテ 連發能ル 右同様ニシテ補助機ヲ檢テ放棄シ 能ク状況極キ不安定ナリ
第二中隊				
備	戦果破ノニ戦ハ前右ノ状況ヨリ觀ルニ何レニカ不詳著セルモノト判断ス			

附表第二

考 備	第 二 中 隊 三日 四日	第 一 中 隊 三日 四日	大 隊 本 部	隊	區	消 費 損 失 摘 要
				號	日	
	141	31		第 一 區	第 二 區	
		33		野 砲	大 砲	
				包 費 通 書 式 三 覽	八 二 九 〇 九 〇	

武 器 彈 藥 損 耗 表

10

10

附録第一  
独立高射砲第一隊

獨立高射砲第二十七大隊命令

一月三日五〇  
小隊本部

一敵艦載機約二十機、現在海軍飛行場ヲ急襲

銃車中ナリ

二本部豫備陣地構築中、尾崎軍曹以下二部監視者ヲ殘置シ速カニ本部ニ飯隊戰鬥ニ参加

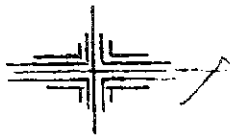
スベシ  
大隊長 大瀧善次郎

下達法 要旨電報右印刷發行

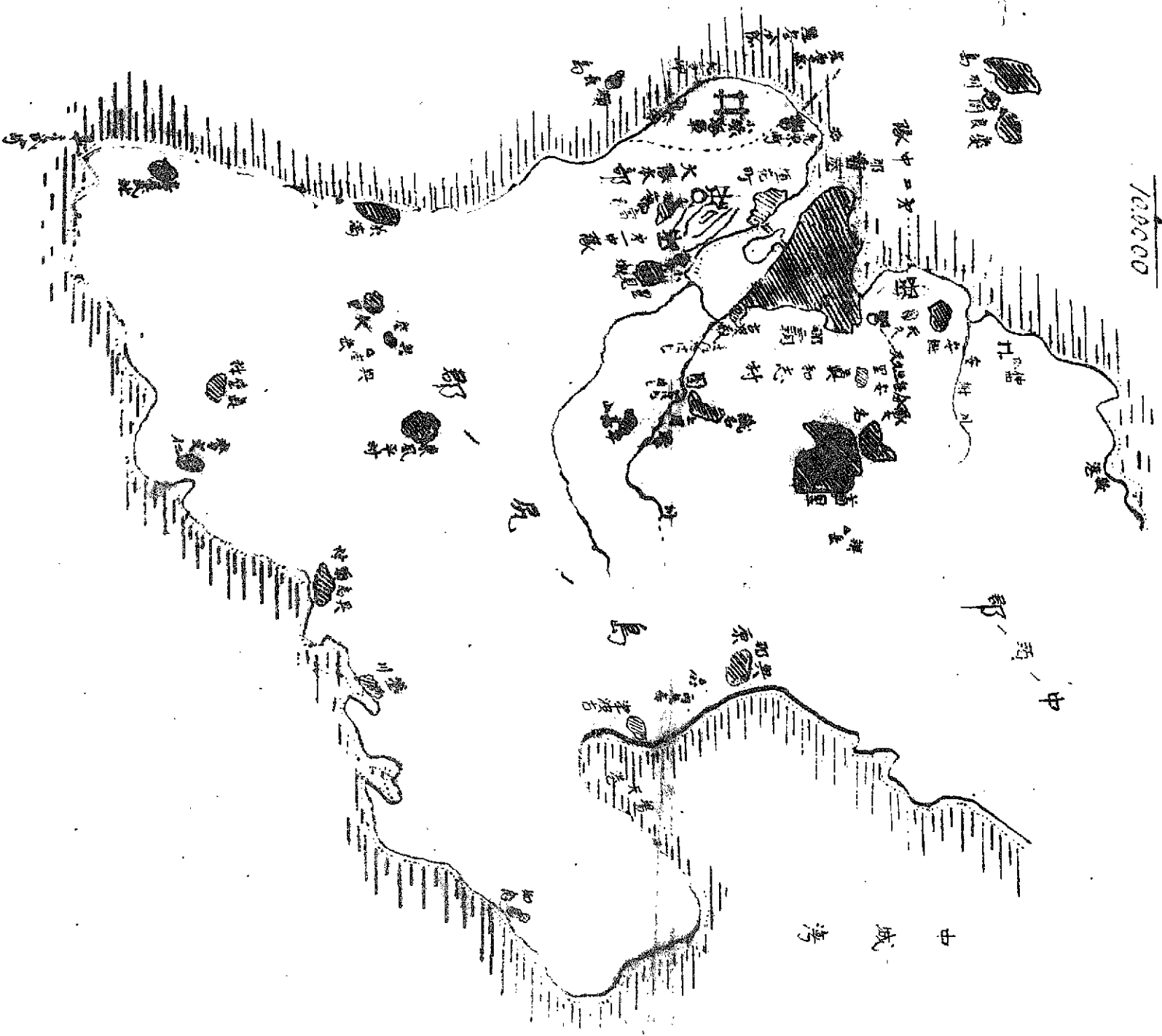
下達先 本部 1AA 2AA

陣地配備要圖

第一圖



100000







臺灣省基隆市附近之軍事地圖

圖三

